

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/07/19号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 景気減速懸念の織り込み続く

NY原油先物相場は、1バレル=97ドル台中盤まで下落する展開になった。各国中央銀行の急激な利上げによる景気減速懸念、中国で新型コロナウイルスの感染が再拡大していることで、需要不安を織り込む形で値下がりしている。為替がドル高に振れていることもネガティブ。7月14日安値は90.56ドルに達し、2月25日以来の安値を更新している。同水準では下げ過ぎ感から押し目買いが入ったことで安値からは大きく切り返したが、前週比では7.20ドル安となっている。バイデン米大統領の中東訪問では、産油国から増産対応について明確な言及はなかった。

バイデン米大統領とサウジアラビアのムハンマド・ビン・サルマン皇太子が7月15日に初会合を行った。会合後にバイデン大統領は「数週間以内の措置を期待する」と発言しているが、サウジアラビアのジュベイル国務相は石油に関するいかなる決定も政治では決まらず、ファンダメンタルズに基づくものになると発言している。マーケットでは、石油増産の確約は得られなかったと評価されている。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (7月1日時点) は、原油が前週比325万バレル増、ガソリンが583万バレル増、石油精製品が267万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

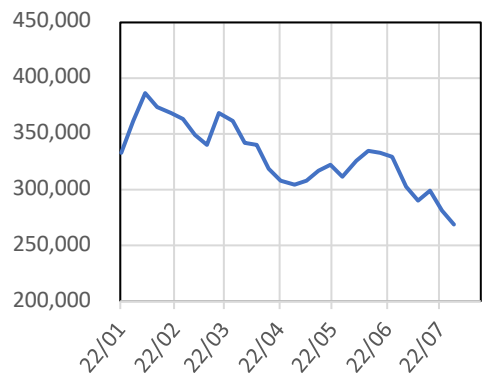
## 景気減速の織り込み優勢も、需要不安と供給不安の均衡点を探る

石油需要環境・見通しの悪化リスクが警戒されている。原油高に加えて、景気動向の悪化を受けて、想定されていたよりも需要が下振れするリスクが高まっている。特に中国で新型コロナウイルスの感染被害が拡大し続けると、ロックダウン（都市封鎖）の再導入も含めて厳しい措置が講じられる可能性がある。このまま需要不安の織り込みが続くと、コアレンジは90ドル水準まで切り下がることになる。戻り売り優勢の地合に対して、値ごろ買いの有無が注目される地合になる。

一方、国際エネルギー機関（IEA）は7月13日に発表した月報で、「石油市場の見通しがこれほど不確かなことはまれだ」と指摘している。供給側にリスクがある一方で世界経済がリセッション（景気後退）に向かう可能性もあり、石油市場が「綱渡り」の状態にあることが指摘されている。想定されていたよりも需要が悪い一方、ロシアの供給がしっかりしていることが、市場のひっ迫感を緩和したとされている。しかし、サウジアラビアやUAEの増産余力は限られるとしている。今後も需要不安と供給不安の双方を抱える中で、上下双方に不安定な値動きが支持される報告内容になった。

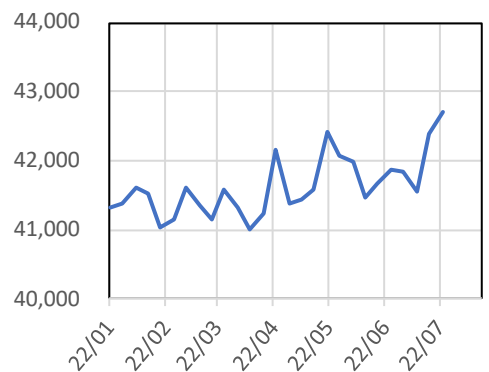
6月下旬以降は専ら需要リスクを織り込む形で値下がりが促されているが、供給不安を背景に下げ過ぎとの評価が広がるか否かを見ながらの展開になる。100ドルが支持線として機能しなかったことで、次は90ドルでのサポートの有無が打診される。チャート上では、ロシアのウクライナ侵攻前の価格水準に近づいており、ここを割り込むとコアレンジ切り下げが一段と鮮明になる。一方、3月以降はこの価格水準でサポートされており、下げ過ぎとの評価が広がると値固めを打診する局面に移行する。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



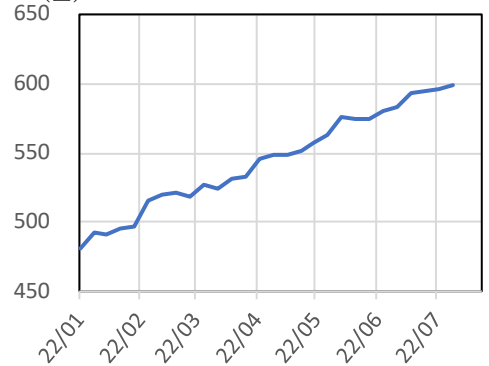
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

